

事業番号 24

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業・経常事業)

事務事業名	こまき市民文化財団助成事業		担当部	教育委員会事務局	担当課	生涯学習課	担当係	社会教育文化係						
実施計画	2	年目												
新基本計画	市政戦略編	分野別計画編	4	文化・スポーツ	15	文化振興	2	団体の自主的な文化芸術活動を支援します						
予算区分	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	5	文化振興費	大	3	中	2
根拠法令・個別計画	①	小牧市教育大綱	②	小牧市教育振興基本計画	③	小牧市第2次文化振興ビジョン								
事業の概要	何(誰)を対象に	市民、文化団体、子ども												
	目的 どの様な状態にするか	様々なジャンルの演奏家・アーティストの公演等を企画し、本格的で良質な芸術文化にふれる機会を提供することにより、文化芸術に触れるきっかけをつくり、文化芸術への関心を高める。また、市民、文化団体等の自主的な文化活動を支援するとともに、多くの市民が文化に親しむ機会を提供する。また、市民に学びの機会を提供し、自主的な学習活動や学びをとおして地域がつながる活動を支援する。												
	手段 どのような事業を実施するか	○こまき市民文化財団助成 ・こまき市民文化財団主催事業及び運営費を補助し、市民の文化芸術、学びへの関心を高め、小牧市の文化及び生涯学習活動を活性化する。 ・こまき市民文化財団は、普及事業、伝統文化事業、舞台公演事業、美術事業、こまなび事業、広報事業等を実施する。												
	事業内容													
28年度	—													
29年度	○こまき市民文化財団助成 ・こまき市民文化財団主催事業及び運営費を補助し、市民の文化芸術、学びへの関心を高め、小牧市の文化及び生涯学習活動を活性化する。 ・こまき市民文化財団は、普及事業、伝統文化事業、舞台公演事業、美術事業、広報事業等を実施する。													
30年度	平成29年度の事業に加えて、こまなび事業(生涯学習事業)として、市公民館のこまなびサロンの運営を市から文化財団へ移行する。													

	H28		H29		H30	
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額	
事業費	合計					
			74,529	56,927	150,789	
財源内訳 (千円)	国支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源			74,529	56,927	150,789
	特定財源の説明					
事業費内訳 (千円)	H28		H29		H30	
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額	
細々節						
こまき市民文化財団補助金			74,529	56,927	150,789	
従事者数	正職員(人数)		0.5	0.5	0.5	
	その他職員(人数)					

	事業の成果指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30
	①	②		目標	実績	目標	実績	目標
ステップⅠ	①	市民会館における文化団体の公演等回数	人	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	②	文化財団等主催公演の入場者数	人	目標	—	—	5,000	5,000
				実績	—	—	4,772	—
	事業の活動指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30
	①	文化財団と文化団体が連携して行った事業の回数(後援・共催等)	回	目標	—	—	—	—
実績				—	—	—	—	
②	文化財団主催公演回数	回	目標	—	—	—	7	
			実績	—	—	—	7	
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因								
ステップⅡ	H29実施結果 平成29年4月に設立し、文化事業からスタートさせた文化財団に対する助成事業である。市民が文化芸術に親しめる機会を充実させるため、幅広いジャンルで公演等を開催し、概ね目標の入場者数を達成することができた。また、団体の自主的な文化芸術活動を支えるため、文化団体等の事業に対して、文化財団が後援や共催を行い支援を行った。							
	H29実施結果 今後の見通し、要因を踏まえた事業の見直し							
文化財団は予算の限られた中で、公演等を実施していくため、補助金の活用や愛知県芸術劇場等との共催による実施などを積極的に検討していく。								

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの
	判定理由	小牧市教育大綱及び小牧市教育振興基本計画に位置づけられた事業であり、こまき市民文化財団を中心として進めていく必要がある。すぐに成果の見える事業ではないため、継続して実施していく必要があると判断したため。	